

水道事業経営評価表

資料 2

業務指標	単位	枚方市決算数値					類 団 比 較	類似団体 平均値	説明
		H23	H24	H25	目標	実績		25年度 実績	
配水池貯留能力	日	0.94	0.96	0.97	↗	↗	●	1.01	<p>【高い方が良い】</p> <p>水道水をためておく配水池の総容量が平均配水量の何日分あるかを示す指標 指標値が高ければ、非常時における配水調整能力や応急給水能力が高いといえる</p> <p><配水池総容量／1日平均配水量></p>
浄水施設耐震率	%	0.0	0.0	0.0	↗	→	●	30.2	<p>〔高い方が良い〕</p> <p>浄水施設のうち高度な耐震化がなされている施設能力の全浄水施設能力に対する割合を示す指標。</p> <p>《参考値》 中宮浄水場「高度浄水処理施設」には、ろ過池・沈でん池など38の浄水処理施設があり、その耐震化率は15.7%です。 今後、安定的な浄水処理に向け、各施設の耐震化を進めます。</p>
ポンプ所耐震施設率	%	78.7	78.7	81.2	↗	↗	○	37.5	<p>【高い方が良い】</p> <p>ポンプ施設のうち高度な耐震化がなされている施設能力の全ポンプ施設能力に対する割合を示す指標</p> <p><耐震対策済みポンプ所能力／全ポンプ所能力×100></p>
配水池耐震施設率	%	44.1	44.2	44.2	↗	→	○	35.9	<p>【高い方が良い】</p> <p>配水池のうち高度な耐震化がなされている施設容量の全配水池容量に対する割合を示す指標</p> <p><耐震対策済み配水池容量／配水池総容量×100></p>
管路の耐震化率	%	15.8	17.1	17.7	↗	↗	●	20.95	<p>【高い方が良い】</p> <p>多くの管路のうち耐震性のある材質と継手（管の接続部）により構成された管路延長の総延長に対する割合を示す指標</p> <p><耐震管延長／管路総延長×100></p>
薬品備蓄日数	日	31.2	31.2	31.3	→	↗	—	35.2	<p>【現行の水準を維持】</p> <p>浄水場で使う薬品が一日平均使用量に対して何日分貯蔵してあるかを示す指標。劣化がない範囲で余裕を持つ方が良いとされる</p> <p><平均薬品貯蔵量／1日平均使用量></p>
※ 経常収支比率	%	109.2	116.6	121.0	↗	↗	○	112.9	<p>【高い方が良い】</p> <p>経常費用が経常収益によってどの程度まかなわれているかを示す指標で、収益性を見る際の最も代表的な指標</p> <p><経常収益／経常費用×100></p>

業務指標	単位	枚方市決算数値					類 団 比 較	類似団体 平均値 25年度 実績	説明
		H23	H24	H25	目標	実績			
※ 総収支比率	%	108.9	108.7	118.3	↗	↗	●	119.3	【高い方が良い】 総費用が総収益によってどの程度まかなわ れているかを示す指標 〈総収益／総費用×100〉
職員1人当たり給水収益	千円	57,118	60,201	66,395	↗	↗	○	62,980	【高い方が良い】 損益勘定職員所属職員1人あたりの生産性 について、給水収益を基準として把握する ための指標 〈給水収益／損益勘定職員数〉
※ 給水収益に対する職 員給与費の割合	%	18.1	17.4	14.1	↘	↘	○	14.4	【低い方が良い】 給水収益に対する職員給与費の割合を表 す指標。事業の収益性を分析するための指 標の一つ 〈職員給与費／給水収益×100〉
給水収益に対する企 業債利息の割合	%	7.8	7.6	7.6	↘	→	○	9.0	【低い方が良い】 給水収益に対する企業債利息の割合を表 す指標。事業の収益性を分析するための指 標の一つ 〈企業債利息／給水収益×100〉
※ 給水収益に対する減 価償却費の割合	%	40.5	35.1	38.5	↘	↗	○	41.1	【低い方が良い】 給水収益に対する減価償却費の割合を表 す指標。事業の収益性を分析するための指 標の一つ 〈減価償却費／給水収益×100〉
給水収益に対する企 業債償還元金の割合	%	19.2	20.3	21.1	↘	↗	○	31.2	【低い方が良い】 給水収益に対する企業債償還元金の割合を 表す指標。企業債償還元金が経営に与え る影響を分析するための指標 〈企業債償還元金／給水収益×100〉
※ 料金回収率	%	101.1	110.6	104.6	→	↘	—	106.7	【現行の水準を維持】 供給単価と給水原価の関係を表す指標。 経営の健全性を示す指標。100%を下回っ ている場合、給水費用が料金収入以外の 収入で賄われていることを示す 〈供給単価／給水原価×100〉
供給単価	円/m ³	147.8	148.0	144.7	↘	↘	○	185.9	【低い方が良い】 有収水量1m ³ あたりどのくらいの収益を得て いるかを表す指標 〈給水収益／有収水量〉

業務指標	単位	枚方市決算数値					類 団 比 較	類似団体 平均値 25年度 実績	説明
		H23	H24	H25	目標	実績			
※ 給水原価	円/㎡	146.1	133.9	138.4	↘	↗	○	174.0	【低い方が良い】 有収水量1㎡あたりどのくらいの費用がかかっているかを表す指標 <経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)/有収水量>
1箇月当たり家庭用料金(10㎡)	円	993	993	945	→	↘	—	1,399	【現行の水準を維持】 口径13mmの給水管で1ヵ月に10㎡の水を使用したときの料金額 <口径13mm基本料金+10㎡使用時の従量料金>
1箇月当たり家庭用料金(20㎡)	円	2284	2284	2173	→	↘	—	2,922	【現行の水準を維持】 口径13mmの給水管で1ヵ月に20㎡の水を使用したときの料金額 <口径13mm基本料金+20㎡使用時の従量料金>
有収率	%	92.9	94.1	94.4	↗	↗	○	89.6	【高い方が良い】 1年間の総給水量のうち、水道料金として回収できた水量の割合を表す指標 <有収水量/配水量×100>
施設利用率	%	64.3	63.0	63.0	↗	→	○	62.7	【高い方が良い】 1日あたりの給水能力に対する1日平均の給水量の割合を表す指標。水道施設の経済性を総合的に判断する指標 <1日平均配水量/1日配水能力×100>
施設最大稼働率	%	73.3	70.7	69.1	↗	↘	●	70.8	【高い方が良い】 1日あたりの給水能力に対する1年間のうち1日の給水量が最大の日の水量の割合を表す指標 <1日最大配水量/1日配水能力×100>
負荷率	%	87.7	89.1	91.2	↗	↗	○	88.4	【高い方が良い】 水道事業の施設効率を判断する指標。数値が大きいほど効率的である <1日平均配水量/1日最大配水量×100>
※ 流動比率	%	463.9	328.0	243.3	200%以上を維持	↘	—	647.6	【200%以上を維持】 短期債務に対する支払能力を表す。100%を下回っていれば不良債務が発生している可能性が高い <流動資産/流動負債×100>
※ 自己資本構成比率	%	63.0	63.3	49.8	↗	↘	●	66.1	【高い方が良い】 総資本に占める自己資本の割合を表す指標。財務の健全性を示す指標の一つ (自己資本金+剰余金)/負債資本合計×100

業務指標	単位	枚方市決算数値					類 団 比 較	類似団体 平均値	説明
		H23	H24	H25	目標	実績		25年度 実績	
※ 固定比率	%	141.8	142.3	180.6	↘	↗	●	146.5	【低い方が良い】 自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを見る指標。100%以下であれば、固定資産への投資が自己資本の枠内に収まっている 〈固定資産／(自己資本金+剰余金)×100〉
※ 企業債償還元金対減価償却費比率	%	47.4	57.9	54.9	↘	↘	○	73.3	【低い方が良い】 投下資本の回収と再投資の間のバランスを見る指標。 〈企業債償還元金／減価償却費×100〉
※ 固定資産回転率	回	0.11	0.11	0.10	↗	↘	○	0.09	【高い方が良い】 固定資産に対する営業収益の割合で、期間中に固定資産の何倍の営業収益があったかを表す指標 〈営業収益／固定資産〉
※ 固定資産使用効率	m ³ /万円	8.2	7.9	7.9	↗	→	○	6.1	【高い方が良い】 有形固定資産に対する1年間の総給水量の割合から施設の稼働が収益につながっているかどうかを示す指標。 配水量／有形固定資産(万円)

※の指標について

平成26年度から適用を義務付けられている新会計基準について、本市は、平成25年度から早期に適用していますが、類似団体は、平成25年度は未適用となっています。このため、新会計基準の影響を受ける経営にかかる業務指標(※の指標)は、類似団体との正確な比較ができません。(「類団比較」の欄を網掛けしています。)